

# 令和3年度予算概算要求・本県からの要望結果

## 【本県からの要望（8月30日福島復興再生協議会）】

## 【概算要求（主なもの）】

（ ）は令和2年度当初予算額

### 1. 避難地域の復興・再生

- ①「福島12市町村の将来像」の実現
- ②移住・定住の促進、交流・関係人口の拡大等に向けた支援
- ③福島再生加速化交付金など必要な予算確保
- ④事業・生業の再生、営農再開に向けた支援
- ⑤教育環境の整備・充実
- ⑥帰還困難区域の復興・再生



・福島再生加速化交付金	727億円	(791億円)
・特定復興再生拠点整備事業	638億円	(673億円)
・福島生活環境整備・帰還再生加速事業	92億円	(94億円)
・帰還困難区域等における鳥獣捕獲等緊急対策事業	4億円	(4億円)
・被災児童生徒に対する学習支援等のための教職員加配	15億円	(16億円)
・緊急スクールカウンセラー等活用事業	17億円	(22億円)
・原子力災害による被災事業者の自立等支援事業	44億円	(16億円)
・福島県高付加価値産地展開支援事業	53億円	(—)
【税制】福島特措法による被災12市町村における農地の利用集積等の促進のための税制上の所要の措置		

### 2. 避難者等の生活再建

- ①避難地域の医療、福祉・介護サービス提供体制の再構築
- ②被災者支援総合交付金を始めとした避難者支援制度の充実

・被災者支援総合交付金	135億円	(155億円)
・医療・介護・障害福祉制度における財政支援	50億円	(60億円)
・地域医療再生基金	54億円	(—)
・被災地復興に向けた情報提供と復興施策の理解促進	7億円	(6億円)

### 3. 風評払拭・風化防止対策の強化

- ①国との連携、協力による風評・風化対策の更なる推進
- ②県産農林水産物等の安全確保と風評対策の強化
- ③教育旅行の誘致など観光復興の推進による風評対策の強化
- ④Jヴィレッジの利活用



・福島県農林水産業再生総合事業	47億円	(47億円)
・福島県における観光関連復興事業	3億円	(3億円)
・国立公園満喫プロジェクト等推進事業	123億円+事項要求	(110億円)
・地域の魅力等発信基盤整備事業	2億円	(2億円)
・放射線副読本の普及	1億円	(1億円)
【税制】福島における特定風評被害による経営への影響に対処するための特定事業活動に係る特例措置の創設		

### 4. 福島イノベーション・コースト構想の推進

- ①国際教育研究拠点の構築
- ②研究開発の推進及び産業集積の加速化
- ③構想を支える教育・人材育成
- ④浜通り地域等への交流人口の拡大及び生活環境の整備促進
- ⑤拠点の運営への支援
- ⑥推進体制基盤の強化



・国際教育研究拠点基本構想策定等事業	2億円	(—)
・福島イノベーション・コースト構想推進基盤整備事業	12億円	(10億円)
・地域復興実用化開発等促進事業	59億円	(57億円)
・福島イノベーション・コースト構想に基づく先端技術展開事業	7億円	(—)
・福島イノベーション・コースト構想等を担う人材育成に関する事業	1億円	(3億円)
・福島イノベーション・コースト構想を支える人材育成基盤の構築（復興知の集積と進化）	5億円	(4億円)
【税制】福島イノベーション・コースト構想の推進に係る特例措置の創設		

### 5. 新産業の創出及び地域産業の再生

- ①再生可能エネルギー先駆けの地及び福島新エネ社会構想の実現
- ②医療・航空宇宙・ロボット関連産業等の集積と産業の再生に向けた支援
- ③農林水産業の再生に向けた支援



・産業活動等の抜本的な脱炭素化に向けた水素社会モデル構築実証事業	79億円	(—)
・福島県における再生可能エネルギーの導入促進のための支援事業費補助金	60億円	(40億円)
・ロボット・ドローンが活躍する省エネルギー社会の実現プロジェクト	41億円	(40億円)
・福島医薬品関連産業支援拠点化事業	30億円	(—)
・自立・帰還支援雇用創出企業立地補助金	215億円	(—)

### 6. 復興を支えるインフラ等の環境整備

- ①浜通り地域の復興に不可欠なインフラ整備の予算確保
- ②放射性物質対策の確実な実施
- ③中間貯蔵施設・特定廃棄物埋立処分施設



・中間貯蔵施設の整備等	1,877億円	(4,025億円)
・放射性物質汚染廃棄物処理事業	732億円	(1,059億円)
・除去土壌等の適正管理・搬出等の実施	264億円	(566億円)
・社会資本整備総合交付金（復興）	77億円	(1,198億円)
・国営追悼・祈念施設の整備の推進	4億円	(15億円)

### その他の要望事項

- ①新型コロナウイルス感染症等への対応と復興・再生の両立
- ②継続する課題への取組と新たに顕在化する課題等への対応

・ウィズコロナ・ポストコロナ時代の「新たな日常」構築に向けた緊要な経費 等  
 ・骨太の方針2020 [7月17日] ・令和3年度以降の復興の取組について [7月17日]

(注) 表示単位未満の端数については四捨五入、上記金額には本県以外も含む場合がある。